

2012年12月18日  
三菱重工業株式会社  
双日株式会社

ロシア・バシコルトスタン共和国向けアクリル酸プラント建設プロジェクトを受注  
同共和国初の EPC プロジェクト  
ルネッサンスコンストラクションと共同で

三菱重工業株式会社（本社：東京都港区 社長：大宮英明）と双日株式会社（本社：東京都千代田区 社長：佐藤洋二）は、ロシア連邦のルネッサンスコンストラクション社（以下 RC、本社：サンクトペテルブルク）と共同で同連邦バシコルトスタン共和国の JSC Gazprom Neftekhim Salavat 社（GNS）から、アクリル酸プラントを受注した。同共和国で初の EPC（設計・調達・建設）契約となるもので、アクリル酸の製造能力は 8 万トン／年。2015 年末の運転開始を予定する。

このアクリル酸プラントは、同共和国の首都ウファの南方約 150km に位置する都市サラバトの近郊に建設される。石油からつくられるプロピレンを原料として、アクリル酸の精製により得られる精製アクリル酸を 3 万 5,000 トン／年、アクリル酸とブタノールの化合物であるブチルアクリレート を 8 万トン／年製造できる。製造技術には三菱化学株式会社のプロセスが採用される。

同プロジェクトは、EPC を含むランプサムターンキー請負契約※で、三菱重工業をリーダーとして、双日、RC とのコンソーシアムで進められる。

GNS 社はロシアガスプロムグループの子会社であり、同共和国サラバトに石油精製・石油化学製造設備を持つ。近年、GNS 社は石油精製設備近代化、大型エチレンプラントの導入を通じて既存設備の効率化をはかっており、今回のアクリル酸プラントの新規建設プロジェクトによって同社の石油化学品製造能力は大きく拡大されることになる。

三菱重工業および双日は、2010 年に受注したロシア連邦タタルスタン共和国向けアンモニア、尿素、メタノール併産プラント建設プロジェクトで培った経験を最大限に活用して本プロジェクトを遂行するとともに、ロシア連邦でのさらなる受注を目指し積極的にマーケティング活動を展開していく。

※ ランプサムターンキー請負契約とは、プラントの設計から建設に関わるすべての役割を引き受け、稼働可能な状態で引き渡しを行う固定価格による一括請負契約。

【問い合わせ先】

三菱重工業株式会社	広報部 広報グループ	03-6716-2168
双日株式会社	広報部	03-6871-5383

以上